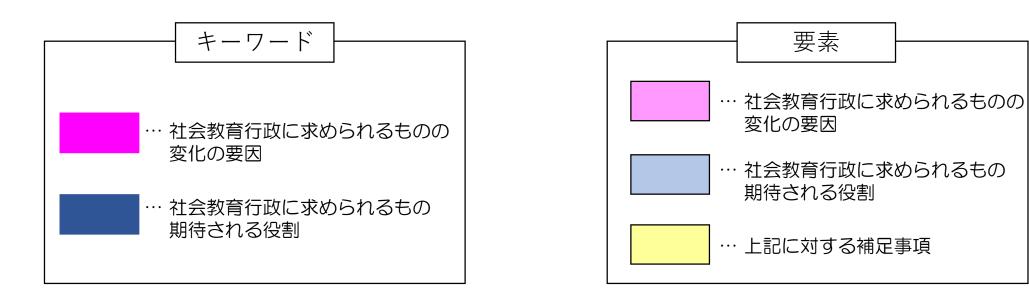
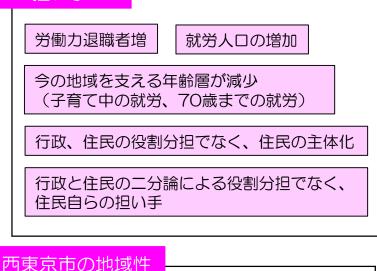
ワークショップ結果



少子高齡化 核家族化 人口減少 少子高齢化 少子高齢化 少子高齢化と人口減少 高齢者の社会的孤立 環境の変化 独居者の拡大 男性高齢者の社会参加が 不十分 見守り (きっかけがない?) 買い物難民 地域の課題 地域力の「低下」 地域の人材不足

地域コミュニティの衰退

地域への注目の高まり



分断化

担い手



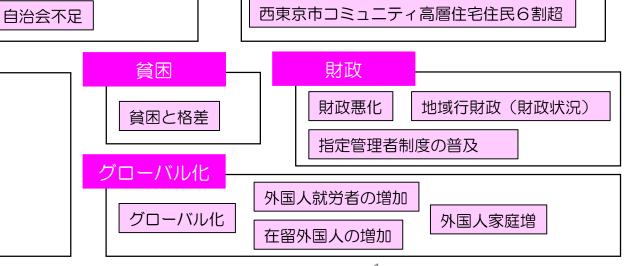
ICT ICTの発展 IT技術の進化 AIやIto技術革新

地域課題解決に参画

している人の固定化

地域社会に核がない

• 高齢化



地域への愛着?

社会教育委員の会議(30.12.20)

教育課題

不登校児童・生徒の増加

特別な支援が必要な児童・生徒の増加

福祉の動き

地域包括ケアシステムから地域共生社会への流れ

改正福祉法

社会教育のテーマ

情報リテラシー

地域活動参加継続法

スポーツ

コミュニケーション

生き抜くための知恵

歴史•文化

法律

環境

人権

アンガーマネジメント

子ども

スマートフォン・ゲーム

ひとりでいる子どもが心配

子どもの「個」化

地域と学校

地域学校協働活動を中心とした学校の連携

地域全体が関われる事業を 取り込むことで幅広い つながりを作る

地域の実情に合わせた対応 をする

変化に対応した学習機会の提供

学びのきっかけづくり の工夫

コミュニティスクール

学校本来の機能を 保ちながら 地域に開くための役割

地域学校協働活動の 仕組みづくり

教育現場の根本的改善(市レベルでは困難?)

社会教育施設

つながり意識

学校施設や民間施設等 の複合化

西原総合施設内の 郷土資料室の充実と 市民への周知

学校施設の社会教育の活用

公民館をもっと 利用しやすく

生涯学習センターを作る

印刷機の借用時間の柔軟な対応

公民館が利用率・稼働 率などの評価を気にし すぎている

社会教育施設の更新

人材活用

西東京市の将来の姿を 市民にわかり易く説明し 共有化する

地域性の考慮・調整

地域人材の活用

必要事案の整理

タイムリーな軌道修正

官民パートナーシップの推進

地域を担う人が少なくなって きている

教育

子ども・若者が主体的に関われる機会・システムを作る

市民協働との解消

民間団体のサポート

家庭

放課後の子どもたちの居場所づくり

子育て支援(保育園、相談)

家庭教育の支援

企業

不必要な民間事業への不介入 (関与事案の整理)

関連施設との連携を進める (企業なども含め)

企業の人的・物的資源の活用

企業との連携

グローバル化への対応

SDGsに基づく整理

外国人家庭への日本語教育・文化の理解

社会教育

社会教育係のリーダーシップ

地域コーディネーターを指定して 報酬も払う

協力できる人の情報、 力を発揮する機会の提供

地域で大人が子どもと関わるための研修

コーディネーターの選出

社会教育主事の養成

社会教育の助言・指導

社会教育主事の設置

社会教育課の人材情報をもっと充実させていく

専門的に関わる担当(行政内)の必要性

地域コミュニティ

地域コミュニティの連続性

市民との協働とは…?

コミュニティ化の加速

町内会・自治会など

地域と行政の融合

地域人材の活用

公民館・図書館との連携

地域づくり

地域でだれもが生き生き暮らす ための場づくり

高齢者

高齢者の意識改革 (地域の人材になるよう)

(健康な)地域の高齢者の 居場所づくり(広報・機会提供)

幸福感

自己肯定感

社会教育は地域課題解決学習であることを認識して既存の講座を 一覧で示す

財政

市財政の健全化 (人口が増えたのに税収は?)

財源の優先順位とその必要性を把握する

公益性と客観性の担保・整理

教育行政の組織

横断的な組織

総合教育会議の活用

社会教育行政の ネットワーク化

行政内での我が事丸ごと化を進める(行政の縦割りから民間まで)

社会教育の ワンストップサービス

行政内実践の整理

ネットワーク化

行政に頼らずにできることから ネットワーク化を進める 社会福祉行政との連携

首長部局との連携構築

社会教育に生涯学習・文化財 ・図書館・公民館を 含めた組織編制

教育部を学校教育部と 社会教育部に分ける

学校教育行政との連携

社会教育と地域教育の セクションの整理

庁舎内の連携を進める

首長部局と教育委員会の融合

労働機会・就労

社会の変化に対応した労働機会の提供